

大府市教委と知教労との話し合い

2019.10.17(木) 17:00~

出席者 市教委(教) 宮島年夫教育長 鈴木達見指導主事
知教労(組) 佐田京美 市野 司 堀口典宏

●多忙化解消：作年度から進んだことについて
組 今年度は 80 時間超過者を0にすることになっている。昨年度から具体的に進んだことは何か。

- ・小学校の野外活動を2泊3日から1泊2日に縮小した。
- ・電話の自動音声対応を実現した。
- ・大府南中では、顧問として部活動指導員を3名にした。野球・バドミントン・テニスを担当している。ただし教員の顧問もいる。部活動指導員を入れることにより超過時間がどれほど減少したかは今後検討する。
- ・全小学校に高性能の印刷機を入れた。ステイプラー留めまでできる。

組 勤務時間外、特に朝の電話対応は管理職にやってもらいたい。

部活動について、学校独自の取り組みとしては、

- ・大府中は5月の午後の部活ありの時は朝部なし。事実上、生徒の入部は希望制になった。
- ・大府中と大府西中では 11 月から1月の午後部活が原則なしになった。

●勤務時間の管理について

組 4月の調査では、超過時間は大府中と石ヶ瀬小以外は、在校時間から 8:30 を引いたものが多い。

委 県からの文書では、8:30をまず引いて、やむを得ず休憩が取れないときは超過分として0:45を加算するという指示で、校長会でも伝えてある。

組 子どもたちがいる以上、何かあれば教員は対応する。休憩中だといって対応しなくてもよいのか。

委 しなければいけない。

組 そのような時間を手待時間といってそれは勤務時間として扱うと多忙化解消プランには書いてある。休憩を取れた日は 8:30 を引き、取れなかった日は 7:45 を引くということが2段階構えて印刷面でも分かるようなシートに統一してほしい。きちんとした労働時間を把握するべきだ。また、客観的に勤務時間を管理できるようにタイムカードやICカードなどを設置してほしい。

委 現在タイムカードを作成中。3学期にはどこかの学校で試行してみたいと考えている。うまくいけば来年度から取り入れたい。タイムカードにしてもエクセルシートには落とすことになる。

組 子どもたちがいれば休憩はとれないという確認をすることが必要だ。

組 子どもの出席確認と、教職員の勤務開始時刻が同時刻の学校はあるか。あれば、勤務開始が先でその後出席確認という時間差を取るべきだ。

委 確認して、あれば指導する。

組 勤務時間前の活動をやめてほしい。あいさつ運

動もしかり。日常の生活で意識を持たせる指導をすることでよい。子育て中の先生からは、早朝は負担だとの声を聞く。

委 頻繁にあってはいけませんが、割振りしてほしい。

組 割振りをしなくてもよい勤務体系が必要だ。

委 お聞きしておく。

組 超過時間 45 時間という上限規定が国から出ている。調査をしているか。

委 している。超過労働対策では、大府市としてはいろいろなことをしてきたつもりだ。経年を見ると少しずつ減っている。

組 業務量削減に向け、部活動指導や職場体験学習等に大なたを振るわねば超過 80 時間以内さえ実現できない。ましてや 45 時間以内はほど遠い。

委 中学校長の考えも聞きたい。

組 泊を伴う行事で車中を休憩時間に行っている学校が未だにある。大東小、東山小、大府西中。また休憩をどこで取るのかを明記していない学校が多々ある。泊を伴う行事では、休憩時間を取れなかった時は割振りをする様にしてもらいたい。

委 きちんと校長会で確認したい。

組 超過労働の多い先生は個別に見て、思い切って仕事を減らすなど、校長は具体的に指導し、翌月には改善されているかを見る必要がある。

委 産業医面接の報告は聞いているので、引き続き確認する。

●部活動について

組 大府市の部活動ガイドラインはできたか。

委 まだできていないが、県のガイドラインに沿う。

組 県のガイドラインでは、朝部活は奨励していない。知多管内でも朝部活をやめる学校が出てきている。期限を切っていついつまでには朝部をやめるという方向を示せないか。

委 今後検討をしていく。ベクトルは部活動は縮小していく方向である。

組 部活動オフ期間があってもよいのではないか。

委 お聞きしておく。

組 小学校の部活動を廃止してほしい。

委 お聞きしておく。短縮・縮小の方向にある。地域や保護者の意見も聞いて進める。

組 教委は教員を守る盾となってほしい。

組 部活動は生徒も教師も希望制にしてほしい。大府中の生徒は実質希望制になったが、全中とも希望制にしてほしい。

委 原則希望制であるべきものだ。しかし、青春の大切な3年間をスポーツに汗を流し、文化活動にいそむことは大切。自分の人生として選択してほしい。部活動の在り方は引き続き検討したい。

●多忙化解消：他の具体的な手立てについて

組 職場体験学習を中止してほしい。職種も偏りが

あり、挨拶やマナーの学習に重きを置いて指導しているのが現状だ。職場体験でなくとも、職業に関わる労働環境や法制度などでも職業教育はできる。加えて教員は多忙である。

委 県が推奨しており、連動して続けたい。意見としてお聞きしておく。教育効果を検証したい。

組 どれだけ時間をかけたかという視点も考慮して、検証してほしい。

組 読書感想文や作品応募では、学校で集約しないようにしてほしい。

委 教委からも呼びかけている。市部局関係のものは、作品を全部回収するようにと変えている。

組 感想文は、国語の先生が膨大な量の作品を読み選定している。主催者でもなく、これらの業務は教員の仕事ではない。学校の判断でやめてよいか。

委 やめることは考えてないが、今後の参考にする。

組 学校訪問については簡略化してほしい。隔年・半日日程や、指導案を A4 サイズ 1 枚にするなど。未だに指導案提出を 2ヶ月前にする学校がある。授業計画の実態に合わない。土日の休みの日に指導案を書く前提の計画をしている学校もある。

委 2ヶ月前の指導案提出は教委は指示していない。付箋もインデックスもいらない。提出日については学校の判断でやっていることだ。確認し、指導する。

組 学校訪問の内容・時程は学校単位で実情に合わせて決めてよいはずだ。たとえば研究協議は現場では重ねているので、当日の協議をなくし、すぐに授業者の反省と指導に入るとか。

委 今は、研究協議がワークショップの形で活発な話し合いになっていて、良い会だと思っている。

組 授業数が足りないと言っている現状では、隔年か半日日程にするのが求められる。

普段はやらずに、学校訪問の前にだけ教室を見回る等の特別な環境整備はしないように、また、見送りもしないように指導してほしい。見送りが必要ならば代表の管理職だけでよい。

委 職員は見送りに行かなくていい。そんなことは望んでいない。現場に余分な負担がかからないようにしたい。

組 学校訪問の時に、出退校時刻の記録や割振り簿、衛生委員会の記録も見してほしい。

委 見るようにする。

組 小学校の英語教員を増やしてほしい。

委 県に希望は出している。全校に欲しいくらいだ。

組 「健康手帳」は必要ない。C 4 t h で対応可。

委 お聞きしておく。

組 夏休みに閉庁期間をつくってほしい。

委 多忙化解消にどのような効果があるのか。効果があるのならやる。校長会で引き続き検討していただく。

組 小学校の陸上大会をやめてほしい。エニスポがやっている個人参加の陸上大会で十分だ。

委 市全体の調整の中で続けることにした。来年は大会運営の効率を図るため、会場を西中から至学館大学陸上競技用グラウンドに変え、午前中で終了する。

組 美術部の4部展も、美術部がなくなった学校もあるので、無理に継続する必要はない。

組 石ヶ瀬小では、教頭と教務は担当する教科授業が0である。教師なら授業を持つべきだ。

委 確認し、必要に応じて指導する。

組 再任用の教師が TT でなく、授業を受け持つてほしい。

委 フルの再任用は普通に授業をする。ハーフの再任用は基本は少人数指導・TT という名目がある。ただ、学校の内情でどうしても必要があれば、本人の了承を得た上でそこは変えても構わないが、少人数指導として配置している以上、誰かが少人数対応となる。

組 校務を担う職員を配置してほしい。

委 新しく採用された給食調理員の正規職員から、校務支援員として兼務してもらうようにした。

組 給食をつくることと、修繕や草刈り・選定とは仕事の内容が全然違うので無理があるのでは。

委 人を雇うには費用がかかり、慎重になる。前向きに検討したい。

組 公費による教材の補助を見直すべき。「健康手帳」など、あまり使っていないのに公費を使うことこそ無駄。また、「知多の友」「数学のリープ」は教員の編集による冊子なので、編集=出張をなくすために、公費補助対象から外してほしい。補助は、修学旅行費の一部補助など他にあってほしい。

委 お聞きしておく。

●その他

組 特別教室にもエアコンをつけてほしい。

委 前向きに検討し、計画をしているところ。

WBGT指数31度で運動・部活動を中止する判断は今後も続ける。

組 新しく導入した機器には不具合が多い。

・i P a dとウィンドウズの両方のタブレットを導入されても勝手が違うので不便。

・新しい印刷機は1枚あたりのコストが高く、印刷枚数に注文がついて不便。

・新しいカラープリンターが入り、今まで使っていた物が、まだ使えるのに使えなくなってもったいない。間際に買ったばかりのプリンターも使えなくなった学校があると聞く。

・9月にパソコンが入れ替えになったとたんは一太郎が使える台数が制限されて不便。

機器を変えるときは現場職員にも聞いてほしい。

委 旧カラープリンターが使えないというのは聞いておく。印刷費用は、1年たってから検証したい。

組 大府中学校の旧給食室の耐震性が危ういという声を聞く。その下が生徒の通学路になっているので至急、事実を調べてほしい。

委 1階部分は大丈夫と聞いたが、調べる。

組 教委が作った道德の資料の使用を強制しないでほしい。ずっと続けるのか。

委 続ける。大府に育つ子どもたちに、ゆかりのある身近な人を知ってもらいたい。強制ではなく、使ってくださいという姿勢でお願いしている。

以上